



Precision
System
Science

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

印刷用のページは
こちらをクリック

PSS REPORT 2023

第38期 事業報告書

2022年7月1日▶2023年6月30日



証券コード：7707

▶ 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第38期（2022年7月1日から2023年6月30日まで）の、当社の業績及び事業活動の概況についてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒相変わりがせぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

PSSの事業は20数年前の磁性体ビーズを使用した反応工程自動化技術（Magtration®Technology）開発からスタートして、世界の大手バイオ・遺伝子企業へのOEM供給（相手先ブランド製造）事業を中核として展開してまいりました。

日本のいちバイオベンチャーの技術がRoche社、QIAGEN社、ThermoFisher社、Abbott社等のメジャープレイヤーから高く評価され、また日本国内でも免疫測定分野において、LSIメディエンス社との共同開発製品は数少ない日本から世界市場へ向けての輸出品として育てることができました。

Roche社が買収したアメリカ・シータス社のPCR法（遺伝子増幅技術）と、PSSの独自技術であるMagtration®Technologyを活用した核酸抽出法を結合し、一体化して完成させた「geneLEAD」は全自動PCR測定システムとしてCOVID-19の蔓延に際し、感染症診断機器として多くの病院、検査室で採用されました。

PCR試薬を専門的に製造、販売するElitech社（フランス）との協業によりワールドワイドな事業展開による約2,000台の販売実績は誇るべきものと考えています。その結果、多くのマスコミにも取り上げられ業界におけるPSSの知名度向上と技術や製品の信頼に繋がりました。

しかしPSS独自の製品販売網は十分ではなく、特定の感染症分野に限られた市場に頼る脆弱性が大きな課題となっていました。

PSSはこの課題を解決するためこの3年間、創業期のごとく開発に取り組み、大きな成果を生み出しています。

磁性体ナノビース、全自動化の拡張、オプティカルファイバー同時複数蛍光測定、核酸抽出試薬の生産体制、オープン化されたPCR試薬搭載デバイス等々の技術は、がん、自己免疫疾患、アルツハイマー等の診断や治療のシステムづくりに有用であり、その応用開発に期待が持てるものです。それらの技術を活用した重篤な疾病や難病治療研究のため必要となる細胞分離自動化を目指して京都大学との共同研究がスタートしています。また各種システム対応の高精度試薬開発や提携も積極的に行い、事業の両輪としていきます。

PSSはポストコロナにおける業績低迷を予測し、上述のとおり医療や臨床現場で求められる新たなヒット製品開発とワールドワイドな販売網作りに全力を注いできました。

本年度はCOVID-19の診断に特化した機器、試薬の販売の急激な減少や事業拡大を目指した投資や運営体制の後処理として在庫や施設の減損、評価損の会計処理を行わざるを得ない状況で、大きな赤字計上となり株主の皆様には誠に申し訳なくお詫びいたします。

一方、事業展開図が示すとおり、本年度の具体的目標や中・長期計画を立案し、新たな事業改革、業績向上への対策をすでに実行しております。

バイオ・遺伝子を扱うシステム技術は生命体を対象とするあらゆる分野での応用、可能性に満ちています。PSSの新たな製品構想は業界に必ず受け入れられるものと確信しております。

業績の改善を果たし、皆様のご期待に答えられるよう社員、PSSグループの総力を上げて取り組む所存です。今後とも何卒宜しくご支援のほどお願い申し上げます。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日島 秀二

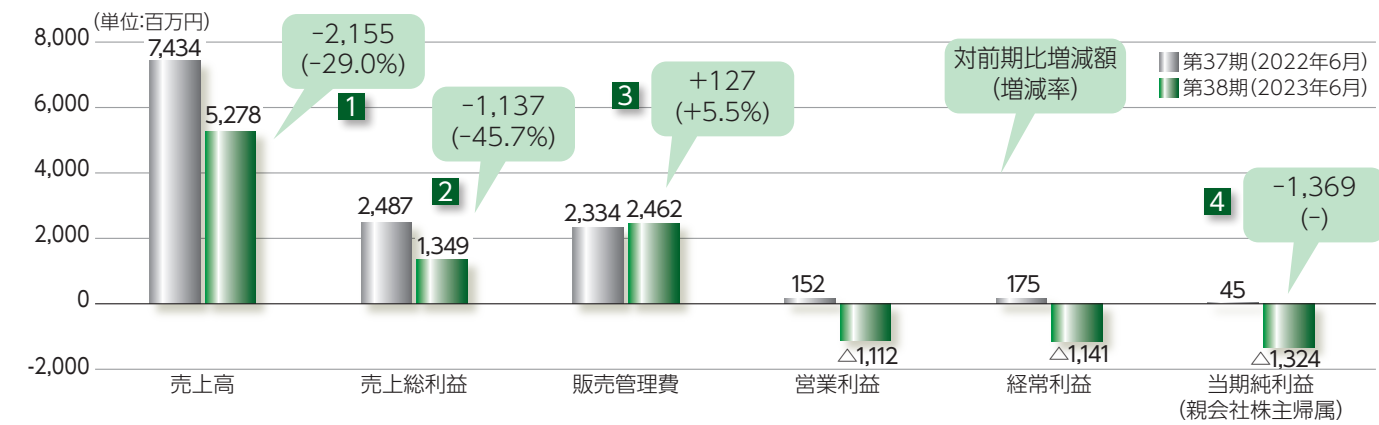
PSSの提案する診断システム

- 全自動PCR検査装置
geneLEAD XXIV



第38期(2023年6月期)連結業績

- コロナ禍の収束傾向に伴う販売減少の影響により、対前期比では大幅な減収減益となりました。
- 販売管理費の増加と特別損失の計上により業績赤字幅が拡大しました。



▶ 多様なBioSystemの実現へ — 新たな市場に向けた事業展開

FOR THE NEXT GENERATION

オリジナル技術開発

核酸抽出・免疫測定

核酸抽出とPCR測定的全自動化

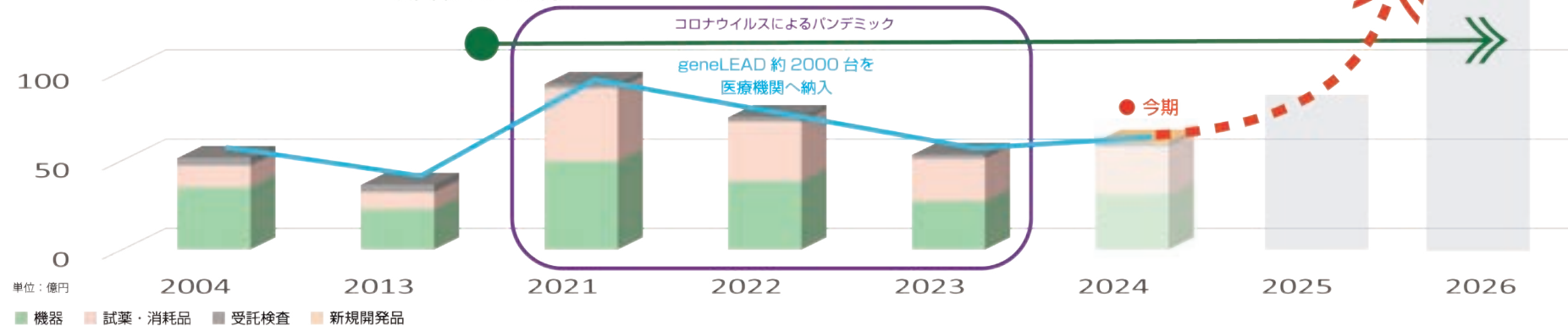
多様なBioSystemの展開

細胞・糖鎖解析・リキッドバイオプシー

自社販売製品群 (一例)



次世代システムの開発



■ 磁性体ビーズを使用した反応工程自動化技術 (Magtration®Technology) の開発・確立

- 日本・米国・欧州等の世界各国に「Magtration®Technology」特許を出願

■ OEM契約による機器販売を中核とする事業展開

- Magtration®Technologyを利用した核酸自動抽出装置等の製品化
- 研究開発施設を対象とするRUO仕様

■ 機器販売と試薬開発・提供を両輪とする事業編成の確立

- OEM契約先とPSS独自販売網を一体とする事業展開に成功
- 医療機関へgeneLEADシリーズ約2,000台を納入
- PCR試薬のIVD仕様化
- 受託検査事業の開始
 - ・企業体からのPCR検査受託事業
 - ・新宿ラボトリー開設
 - ・東京都PCR等検査無料化事業対応 (PSS新宿PCR検査センターにて 2022年3月~2023年4月)

□ 第37期(2022年6月期)業績比

売上高の減収要因

- ・コロナ禍の収束傾向に伴う影響により海外販売が減少したことによるものです。
- 1 自社ブランド製品である全自動PCR検査装置及びそれに付随する専用の試薬・消耗品の販売は当初計画どおりに推移したものの、日本国内においても新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2023年5月より5類へ移行されたことによる販売減少の影響を受けたことによるものです。

売上総利益の追加減収要因

- 2 日本国内におけるPCR試薬(COVID-19検査用)の保険収載価格の引き下げによるものです。
- ・最新のコロナ禍の収束傾向にある事業環境を鑑みて、特注機として上市販売予定の数製品を製品評価損として計上したことによるものです。

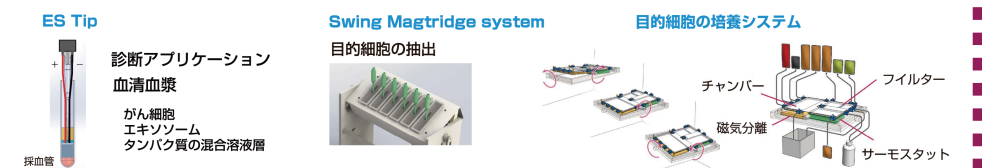
販売管理費の増加要因

- 3 「東京都PCR等検査無料化事業」や自社販売製品のサポート活動への対応活動費用が増加したことによるものです。

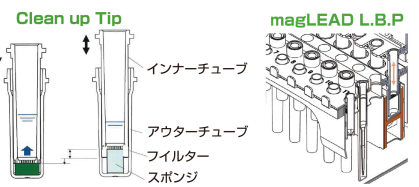
特別損失の計上について

- 4 PSS新宿PCR検査センター閉鎖に伴う固定資産等の減損損失と送金詐欺損失の計上等によるものです。

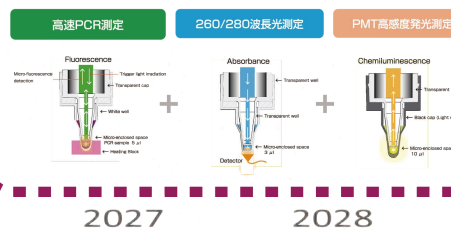
目的細胞の抽出 / 培養システムの開発



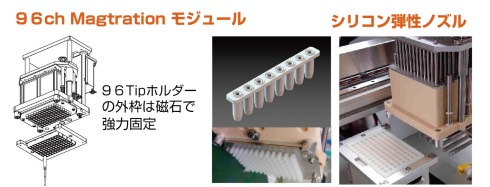
固形物、夾雑物を除去した上清液からの抽出法の開発



遺伝学、生化学、免疫測定に同時 / 兼用可能な反応・測定容器システムの開発



96サンプルバッチ処理の核酸抽出機構 軽量化ハイスループットシステムの開発



ナノ磁性ビーズ及びスポットティング固相フローセル法を用いた糖鎖解析の開発



■ COVID-19収束後の新事業・技術・製品開発

- PSSが培ってきた技術を駆使した免疫細胞・がん細胞の分離技術の開発と確立
- レクチンマイクロアレイを用いた糖鎖解析受託サービスの開始
- 京都大学との連携の強化
- 新技術を搭載した製品の完成と販売開始
 - ・geneLEAD XXIV
 - ・magLEAD 12gC LINK
 - ・ささかぜ(床ずれ防止用具)
- 新技術の診断・治療への応用

■ 多様なBioSystemの実現

- 各国アカデミア・バイオベンチャーとの連携強化・拡大
- 最先端の臨床検査現場の検査ニーズへの対応
- 全自動DNAシーケンサーの実現

会社概要

CORPORATE PROFILE

会社概要：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.
設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
専務取締役 池田 秀雄
常務取締役 古川 昭宏
取締役 田中 英樹
取締役 澤上 一美
取締役* 荻原 大輔
監査役 高橋 達雄
監査役** 部屋 健太郎
監査役** 本島 佳代子
監査役** 鈴木 泰浩
(注) *社外取締役 **社外監査役

資本金：4,643百万円

従業員数：199名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含めない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ株式会社 (千葉県松戸市)
エヌピーエス株式会社 (秋田県大館市)

事業内容：体外診断システムの開発及びメーカー (装置、試薬、消耗品、メンテナンス、受託検査等)

株式の状況

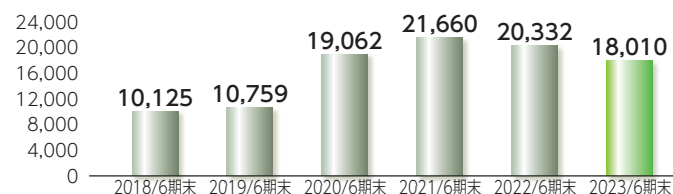
STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
発行済株式総数 27,666,900株
株主数 18,010名

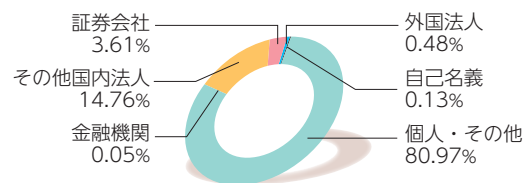
大株主 (2023/6期末現在)

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
田島 秀二	4,607,600	16.7
株式会社日立ハイテック	2,310,000	8.3
有限会社ユニテック	1,200,000	4.3
ナガシマ通商株式会社	395,000	1.4
田中 正勝	333,900	1.2
JPモルガン証券株式会社	241,866	0.9
小玉 博之	150,200	0.5
楽天証券株式会社	143,000	0.5
松井証券株式会社	132,800	0.5
佐々木 重次	130,300	0.5

株主数推移 (名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
剰余金の配当基準日	期末配当金 毎年 6 月30日 中間配当金 毎年12月31日
定時株主総会	毎年9月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法	電子公告 (http://www.pss.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先

〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く
9:00~17:00)

お取扱店

みずほ信託銀行
本店及び全国各支店
※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
みずほ銀行 本店及び全国各支店

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。
PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 総務部

〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL: 047-303-4800 ▶FAX: 047-303-4810 ▶Eメール: ir@pss.co.jp